

バリアフリー字幕付上映は
どのようにはじましたのか...
99年のある日のこと

バリアフリー字幕付上映は
どのようにはじましたのか...
99年のある日のこと

この日のマンガは映画祭HPでもどうぞ!

聴覚障がいの方は、外国映画館、映画館で見ると、日本映画をみる機会が少ない...
08年には、スタッフが講師を招き、字幕制作を学んで、自らバリアフリー日本語字幕テキスト制作にも進みました。
その後のデジタル化の波は、その後も続きます...

近年、字幕付上映はふえた。しかし、回数に限られている。そんな中、積極的に字幕制作を好むファンたちがいた。
『シンヨジニ』
みんなが、字幕をたのめば、回数もふえるかも!!

ワイトの主は、
深田晃司監督でした!!
第99回カニ国際映画祭で「ある視点」部門で最優秀賞を受賞され、そのスピーチでも

「日本では映画への行政支援が足りない」と発言されるなど、映画界のバリアフリーもと進め。
あの深田監督が

こんにちは!!
ボクは、日本語字幕のスタッフです!!
バリアフリー字幕付上映は、なんとどうや...?

これは、日本映画に字幕がないから!!
字幕がないから!!
あ、また!!

ほぼ20年、この活動をけん引するパトランのTさんにきく。
思い出深い作品はありますか?
『珈琲とエロツ』です。(2013年)

字幕専用スマートフォンを貸し出す。
劇場もふえていく。
UDcastは、映画の音声をスマートフォンで、端末を通して字幕や手話表示を行えるアプリなんです!!

「日本では映画への行政支援が足りない」と発言されるなど、映画界のバリアフリーもと進め。
あの深田監督が

それは、映画祭で毎年行っている副音声イヤホンが付上映。
1007年(こと)。

映画の情景や人物の動作、表情を音声で解説します。
FMラジオやOHIPで投射したという第一回作品は可憐なほや。

映画の内容はもちろん、監督をお迎えして、手話通訳要約筆記を介したアフレコは、お客様にもお楽しみいただけます!!

Kの通う手話サークルのこと...川崎でもお茶会や、Xがネを借りられるんです!!
その方曰く、映画制作者が字幕を付けてくれることのほうを望んでいる。

「海を駆ける」
グリーン・ニコカさん主演の美しい問題作です!

聴覚障がいの方に向けたバリアフリー日本語字幕付上映(1999年)と、
セリフ、何を誰か話しているか、効果音、etc.を字幕表示します。

聴覚障がいの方はもちろん、聴者のお客様からも好評だった沖繩弁の文字情報化よかったです。またやてね。
はいっ
こうして決定着した!!

スタッフにとっても、聴覚障がい者のカルチャーにふれる機会となりました。
17年には再び今村紗子監督の「スタートライン」とアナートーク

どうか...権利か!!
そんなとき、今後自分の作品はすべてバリアフリー化したい。過去作もすべてしたい。
こんなワイトをみつけた

しんゆり映画祭は、これまでもこれからもお客様の声がつくる映画祭です。
いろいろ書いたけど、Kが深田監督ファンはだけ!!
それだ、(つづく...)